

第六十五句会 俳句

【高点句】

- ☆学生の去りし艇庫やカナ咲く 〈伸子〉
- ☆慰霊碑のその名を撫づる手の日焼 〈郁代〉
- ☆母象も子象も寄りて大西瓜 〈明美〉
- ☆朝顔の蔓先の風清々し 〈莫院〉
- ☆蝉時雨抜けて母への朝電話 〈青蛙〉

【各自一句】

- ・オンライン異国の友と繋ぐ夏 〈青蛙〉
- ・エジソンの母の子育て白木槿 〈郁代〉
- ・科学者の苦悩に重ねる原爆忌 〈隆司〉
- ・新涼の空へ朝課の大太鼓 〈明美〉
- ・八月を全速力の小学生 〈安津子〉
- ・コロナ禍や夏山までも密となり 〈童心〉
- ・鈴虫よ友の逝去を知らぬのか 〈撫子〉
- ・敗戦日母は四十二我七つ 〈千恵〉
- ・再開を告げし講座や夏の空 〈伸子〉
- ・猫じやらし我と遊びし彼はなく 〈緑〉
- ・碧天や底に小さき夏の富士 〈哲雄〉
- ・遠く近くまどろむ耳に蝉しぐれ 〈眞澄〉
- ・盆休父の湯呑の小さくなり 〈莫院〉
- ・安寧を祈る不動や濃紫陽花 〈一馬〉

*以上、43句（3句ずつ14名、1句1名）より、選句は15名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で2句、第3位が同点で3句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）